

審議事項(2)資料

山梨県希少野生動植物種の保護に関する
条例に基づく指定希少野生動植物種及び
特定希少野生動植物種の指定について

みどり自然課

山梨県希少野生動植物種の保護に関する条例に基づく指定希少野生動植物種及び特定希少野生動植物種の指定について

1 趣 旨

昨年7月に発見された絶滅の恐れのある種（植物1種）について最新の生育状況が明らかになったことから、山梨県希少野生動植物種の保護に関する条例に基づき、必要な保護対策を講じる。

2 山梨県希少野生動植物種の保護に関する条例

(1) 個体の取り扱いに関する規制

・「指定希少野生動植物種」

希少野生動植物種のうち、特に保護を図る必要がある種。捕獲・採取等が禁止。

・「特定希少野生動植物種」

指定希少野生動植物種のうち、譲り渡し等を監視する必要がある種。

(2) 生息地等の保護に関する規制

指定希少野生動植物種を保護するため、開発行為の届出・許可を必要とする生息地等保護区の指定が可能。

(3) 現在の規制状況

・指定希少野生動植物種指定：37種（植物27種、鳥類1種、両生類1種、魚類1種、昆虫類7種）

うち、特定希少野生動植物種指定：25種（植物24種、魚類1種）

・生息地等保護区の指定はなし。

3 検討経過

令和元年11月 第1回希少野生動植物種指定等検討委員会を開催し、植物1種の指定について検討

4 対応（案）

個体数が少なく、生息地等における過度の採取などのおそれもあることから、指定希少野生動植物種及び特定希少野生動植物種に指定する。

H20. 3. 31 指定			H31. 1. 31 指定			
区分	指定希少野生動植物種	特定	区分	指定希少野生動植物種	特定	
植物	キタダケソウ	○	植物	コシノコハシモ	○	
	キタダケキノボウゲ	○		ホサダキツキヌキソウ	○	
	キタダケトリカブト	○		カイコハシモ	○	
	ヒイラギテンダ	○		ミヤマアケボノソウ	○	
	(クモイカゲマ)	○		スルガジヨウロウホトトギス	○	
	ヒメテンダ	○		ヘニハナヤマシヤクヤク	○	
	(キタダケテンダ)	○				
	キハナアツモリソウ	○		両生類	アカイサンショウウオ	
	カモラン	○		魚類	ホトケトシヨウ	○
	ホテイアツモリ	○		昆虫類	コヒヨウモンモトキ	
	アツモリソウ	○	オオイチモンジ			
	ニヨボウチドリ	○	コヒオトシ			
	ホテイラン	○	クモマヘニヒカゲ			
	タカネヒランジ	○	ミヤマシロチョウ			
	タカネマンテマ	○	クモマツマキチョウ			
	ホウオウシャジン	○	ヘニヒカゲ			
	ユキワリソウ	○				
	クモイコサクラ					
	ハコネコメツツジ					
	ムシトリスミレ					
ヒメマツカサスキ						
ヒツジグサ						
カリガネソウ						
鳥類	ライチョウ					
合計	22種	18種	合計	15種	7種	

+

指定（案）(R2. 1月予定)		
区分	指定希少野生動植物種	特定希少野生動植物種
植物	ヒメスズムシソウ	○

5 今後のスケジュール

令和元年12月 山梨県環境保全審議会に諮問
 令和2年1月 指定（案）の縦覧、告示（効力発生）

6 指定後の対応

- ・環境省、関係者と保護、保全対策を協議。
- ・継続的なモニタリングを実施し、指定効果を検証後、保護保全対策を検討。
- ・HP、自然保護団体等を通じて追加指定について周知。

本県におけるヒメスズムシソウ確認までの経緯について

【経緯】

- 平成30年7月 県内において当該種と思われる種の発見が環境省に報告される。
環境省は（一財）自然環境研究センターに調査を委託。
同センターが目視により同定し、環境省に結果を報告。
環境省から、当該種について、山梨県希少野生動植物種の保護に関する条例指定の要請。
- 10月24日 平成30年度山梨県希少野生動植物種指定等検討委員会に当該種の条例指定を提案したが、県内の研究者が未確認である為、DNA解析等の更なる調査、研究を継続して行うこととした。
- 令和元年
7月20日 山梨県希少野生動植物種指定等検討委員会、(株)緑生研究所研究員 高島路久氏（栃木県RDB調査員）等により現地調査を実施確認。
- 9月19日 独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園によるDNA解析の結果、ヒメスズムシソウと同定。

ヒメスズムシソウ ラン科 クモキリソウ属

2018山梨県レッドデータブックカテゴリー:なし 2019環境省カテゴリー: I A



高さ5～10cmの小型の落葉性地生ラン。
偽球茎は卵形～卵円形で長さ4～7mm。
葉は2枚、1.5～2cm。披針形～卵形で全縁、やや鈍頭。基部はしだいに細くなる。
3.5～4cmの花茎を伸ばし茎頂に3～4個の小花をつける。
花茎には稜がある。
花の色は淡黄緑色で、唇弁には基部から先端にかけて紫褐色の条線がある。唇弁は倒卵形で、基部から中ほどにかけて両縁が盛り上がり中央部がへこむ。唇弁の先は背軸側にやや反り返り、先端部が急に細まり先が小さく尖る。
唇弁の基部には緑色の三角状の突起がある。
側花弁は淡黄色、両縁がまくれた糸状で下垂する。背萼片は線形、やや鋭頭、淡黄緑色でほぼ直立し、長さ約7mm。側萼片は線形、やや鋭頭、淡黄緑色で薄い紫色の条線があり、唇弁を挟むように前方に伸びる。
蕊柱は淡黄緑色で長さ2～3mm、上端の両側に小さな三角状の翼がある。
花期は7月。
分布は、山梨県の他は、岩手県、栃木県、長野県のみで生育が確認されている。